

○ 政務活動(行政視察・研修)報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	市民クラブ 増山裕司、中道博武、飯澤明彦
視察・研修名	「子育てするなら 高石市」の取り組みについて
視察・研修の 目 的	子育てをしやすい環境づくりを目指したきっかけ 取り組んでいる事業について
日 時	平成29年10月31日 (火) 9:30 から 11:45
視察研修の 概 要	<p>視察先 : 大阪府 高石市議会 高石市教育委員会</p> <p>・畑中政昭 高石市議会議長 ・古川浩史 議会事務局長 ・村田佳一 教育部次長 ・小林弘典 子育て支援課長 ・家村美雪 こども家庭課長 ・石田俊彦 社会教育課長代理 ・進藤智之氏 (指定管理者 (株)ポーネルド)</p> <p>①「子育てウェルカムステーション(ハグッドたかいし)」について まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標でこどもを産み育てやすい環境を 整える目標を設定 主な施策の中で、駅前の「アプラたかいし」の3Fを子どもの遊び場スペースを改修 ※子どもの遊び場作りのノウハウのある「ボールネンド社」が指定管理 →子育て世代の定住・転入の促進、住宅支援</p> <p>②パパママ応援ブック ・多子世帯支援 → 保育料の多子減免 ・妊産婦検診 → 費用支援の拡充 ・不妊治療 → 大阪府の支援を踏まえた支援 ・子育て包括支援センター → 周産期・子育て支援の一本化 特に産後ケアの充実 ・結婚への意識向上 → 民間企業等と連携し出合いの場の提供 ・駅前保育ステーションの整備 → 大阪中心部への通勤需要への対応 ・放課後児童クラブの時間延長 → 帰宅時間が遅くなる保護者対応</p> <p>③病児保育 働くパパママも安心! ・病児保育の整備 → 働きながら子育てする方への環境整備</p> <p>※ 「アプラたかいし」は平成15年市街地再開発事業により建設 (街の顔) 1F, 2Fはショッピングモール、3Fにホールや消費生活センター 4Fに市立図書館、5F～12Fが分譲マンションが併設</p>

○ 政務活動(行政視察・研修)報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	市民クラブ 増山裕司、中道博武、飯澤明彦
視察・研修名	産業振興ビジョンについて
視察・研修の 目的	産業振興ビジョンについての策定意義 及び成果・課題等について
日時	平成29年11月1日(水) 13:00 から 15:00
視察研修の 概要	<p>視察先：大阪府 四条畷市議会 四条畷市市民生活部産業観光課</p> <p>・曾田平治 四条畷市議会議長 ・石田健一 議会事務局長 ・西岡 充 産業観光課長 ・鈴木信一 産業観光課長代理</p> <p>① 産業振興ビジョンの策定の背景・経過について</p> <p>・第2京阪道路、国道163号線が走り、大阪都心まで約20分～購買力の流 失イオンモールの開業等で地元商店街の衰退が進んだ</p> <p>② 産業振興ビジョンの策定に要する期間・手法について</p> <p>・5年毎に見直し改定 ・四条畷市産業振興ビジョン推進協議会で協議 (委員) ・学識経験者 ・商工会 ・商業連合会 ・文化観光協議会 ・農協 ・農業委員会 ・農業研究クラブ ・消費生活友の会 ・なわてロードガイド</p> <p>③ 産業振興ビジョンの市民との共有状況について</p> <p>・四条畷市産業振興基本条例の策定 ～ 平成27年度 ・総合計画の分野別計画として位置づけ、総合戦略との連動 ・市民の代表機関、市議会との情報交換の実施</p> <p>④ 産業振興ビジョンによる成果について</p> <p>・観光大使の任命 ～ 5名が四条畷市の魅力を発信 ・観光地を点から線につなげる動き ・高齢者向けに空き店舗の有効活用が図られてきている</p> <p>⑤ 産業振興ビジョンの今後の課題について</p> <p>・事業者の高齢化への対応、消費需要の減退 ・地域資源を活かしたブランド力の向上 ・産学や異業種連携やICTの活用</p>

○ 政務活動(行政視察・研修)報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	市民クラブ 増山裕司、中道博武、飯澤明彦
視察・研修名	マーケティングの視点を活かした政策の発信
視察・研修の 目的	マーケティングの視点から解りやすく伝える 議会の情報発信
日時	平成30年2月1日 (木) 10:00 から 12:30
視察研修の 概要	<p>研修先 : 東京都 地方議員研究会 議員研修 講師 : 永田 潤子 氏 (大阪市立大学大学院 創造都市研究科 准教授)</p> <p>○マーケティングの基本 ~ 購買プロセス「AIDMA」の法則</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A アテンション ~ 注意 ・I インタレスト ~ 興味・関心 ・D デマンド ~ 欲求 ・M メモリー ~ 記憶 ・A アクション ~ 行動 <p>近年は、・検索 ・比較 ・情報共有 が必要</p> <p>※ ニーズ → 承知 → 政策 → 発信 → 解決</p> <p>○理解と共感のコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の道筋を明確に ・話の構造を解りやすく ・視覚的に訴える ・暗黙知を直感的に伝える ・相手を受け止める ・相手を攻撃せずに伝える ・親和的な雰囲気づくり ・自分で考えさせて意見を引き出す <p>*男性の意識 → 結果、目標達成、最速、最短</p> <p>*女性の意識 → コミュニケーション、協力、調和、愛、共有、人間関係</p> <p>○議会報告チラシ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚で引き付ける ~ バランスの良い配置 <ol style="list-style-type: none"> 1.キャッチコピー 2.リードコピー 3.ボディーコピー 4.オファー 5.レスポンスデバイス